

NEWS RELEASE

2025.06.27

運転士用保護メガネ(偏光レンズ)を本格導入します

阪急電鉄では、列車運行のさらなる安全性の向上を目的に、運転士用保護メガネ(偏光レンズ)の試験導入を4月1日～5月31日に実施しました。本試験導入の結果、直射日光や反射光のまぶしさの緩和による信号や標識、車両機器類の視認性向上と疲労軽減の効果が確認できたことから、運転士用保護メガネ(偏光レンズ)を7月から順次本格導入します。

概要は以下の通りです。

1. 本格導入開始時期

2025年7月から順次

2. 対象路線

当社の運転士が乗務する全線

※保護メガネの着用は、天候等の状況に応じて運転士の判断により行います。

3. 保護メガネ着用による効果

直射日光や反射光のまぶしさの緩和による信号や標識、車両機器類の視認性向上と疲労軽減

4. 着用する保護メガネ(偏光レンズ)

SWANS(山本光学株式会社製)



「運行業務者用防護めがね SWTD-0153」
(フリップアップ機能付き)



「SCP-22(偏光ライトスモーク)」
(メガネの上に取り付けるタイプ)

以上

【ニュースリリース配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ